

chatGPTにより作成

—TEL協働プログラムの活動から

未来社会デザイン塾 の試み

生成AIを活用した
未来の寓話づくりプロジェクト

山内保典（東北大学高度教育・学生支援機構）

**どのような夢の未来を生きたいですか？
想像してみてください。**

(あなた自身だけでなく、子孫も含めて)



chatGPTにより作成

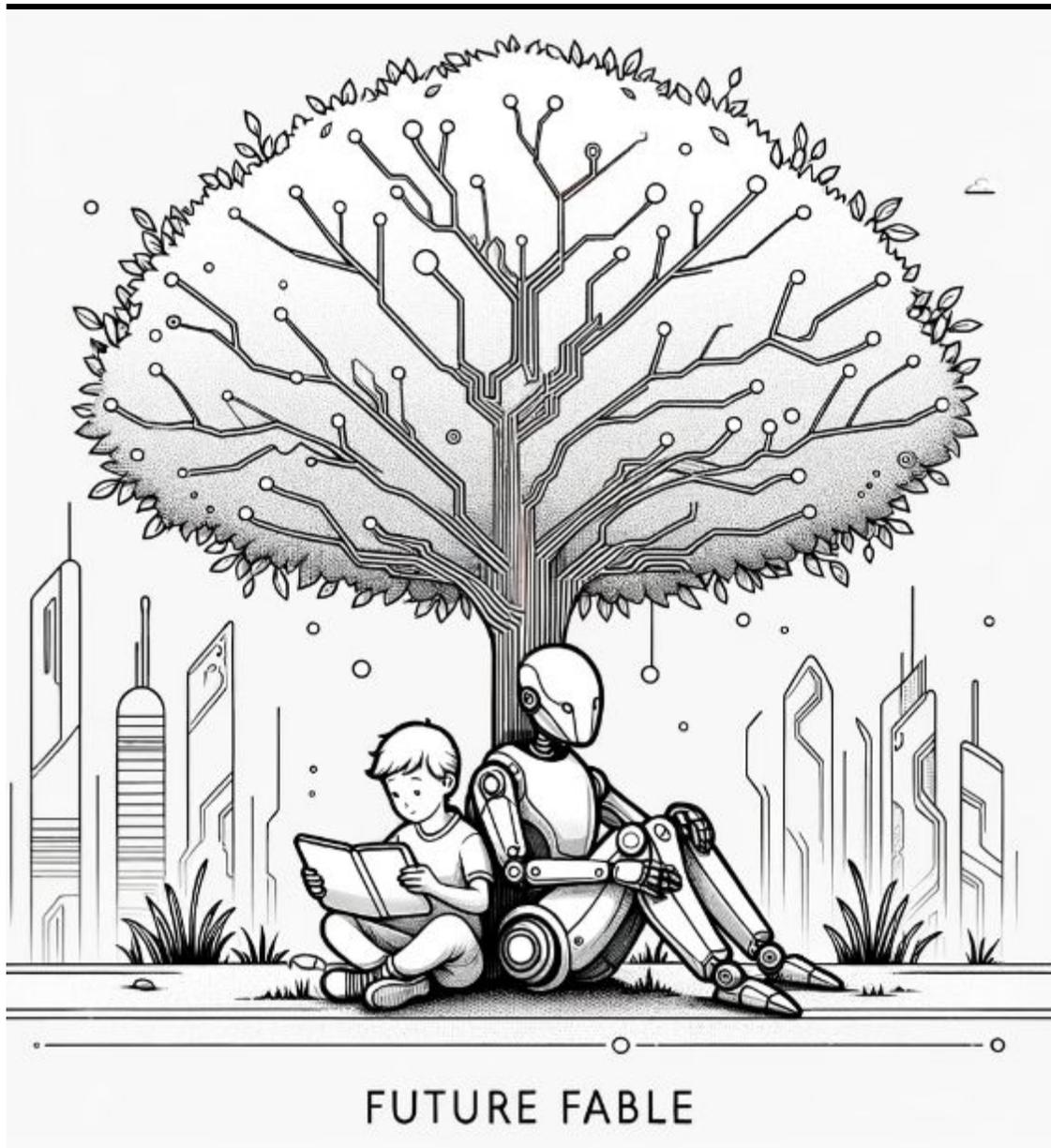


chatGPTにより作成

「あなたの想像が、未来になる」

「みんなの想像を、未来にする」

→想像できれば、そこに向かうことができる。
想像は、未来を自分でつくる第一歩。
過去と現在は選べないが、未来はつくれる。



chatGPT4.0により作成

—TEL協働プログラムの活動から

未来社会デザイン塾の試み

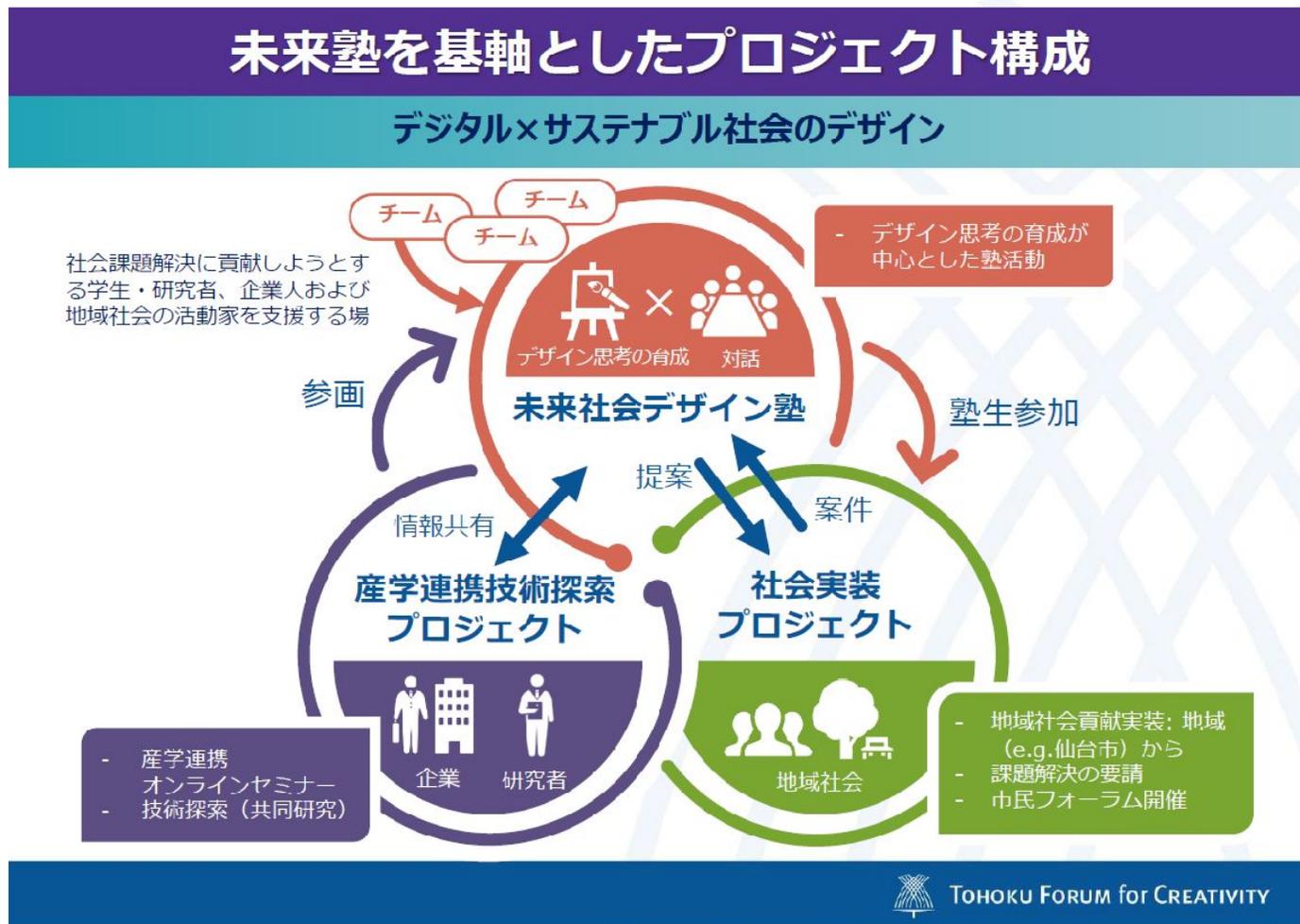
生成AIを活用した
未来の寓話づくりプロジェクト

山内保典（東北大学高度教育・学生支援機構）

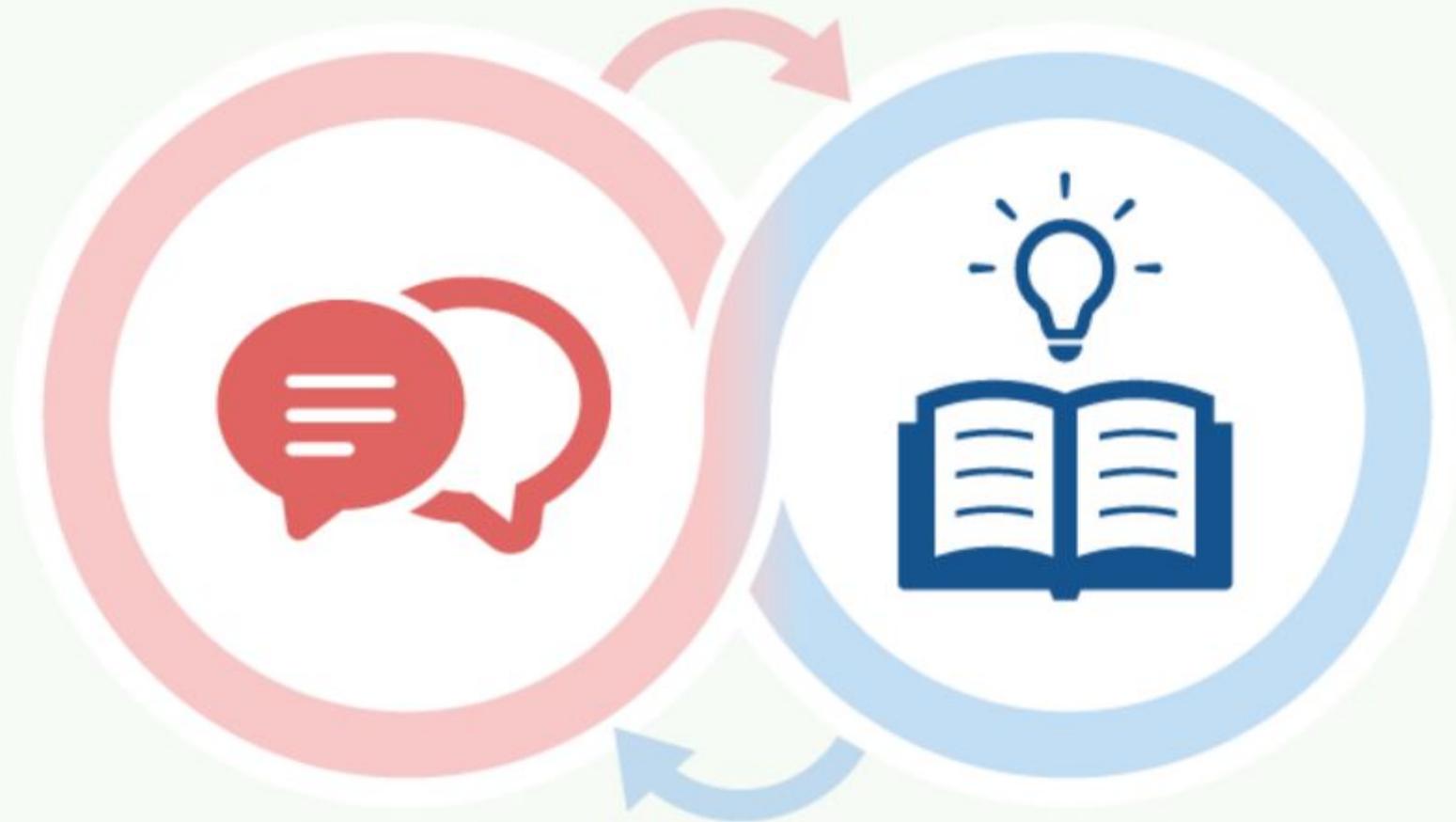
未来社会 デザイン塾

多様な人材が集まり対話できる「場」

創りたい未来をデザイン
対話の場をデザイン



対話から寓話をデザインする



寓話から対話をデザインする

寓話

教訓、風刺、問いを含み、
読者に考えさせる

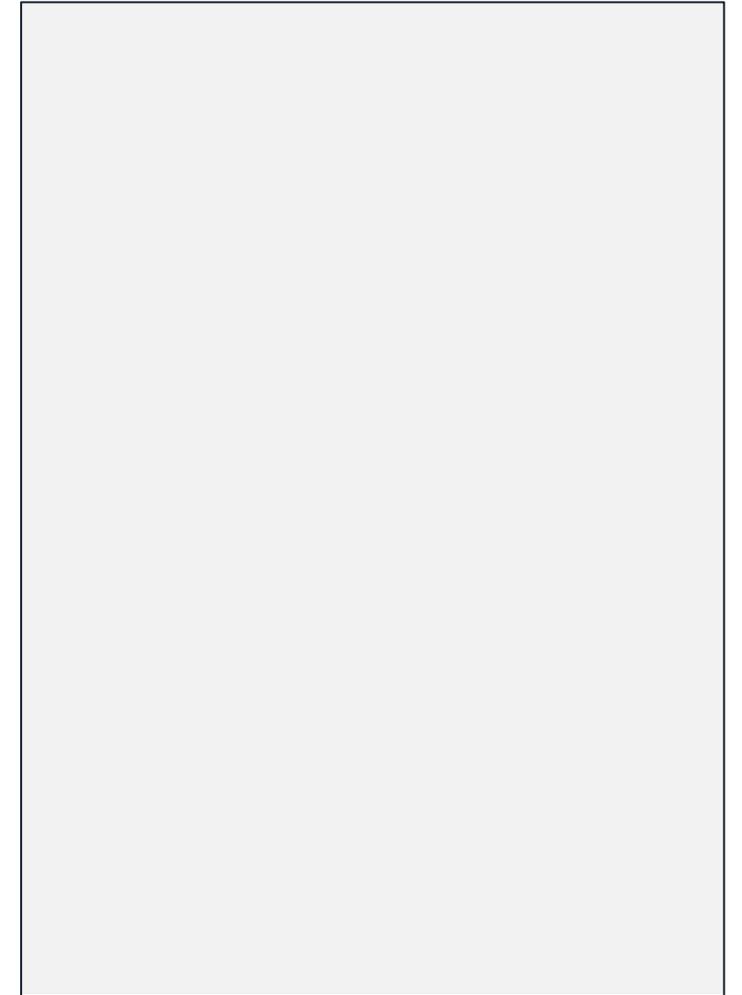
様々な登場人物の視点に立ち、
複雑な相互作用のある
未来社会を疑似体験



スペキュラティブ・ デザイン

批評的で議論を呼び起こすことを通じて、問題を発見し、問いを立てる。デザインを社会サービスにおけるメディアとして捉える。世界がどうなり得るかを示すことで、その世界に自らを適合させていく。それは社会的に機能するフィクションであり、実現していない現実としてのもうひとつの並行世界でもある。何かを作る側ではなく、消費する側からの視点を暗示し、人をユーモアと共に挑発する。まさにコンセプチュアルなデザインであり、市民としての私たちに、倫理や権利について考えさせる力を持った表現である。

アンソニー・ダン他(2015)「スペキュラティブ・デザイン」,p.12



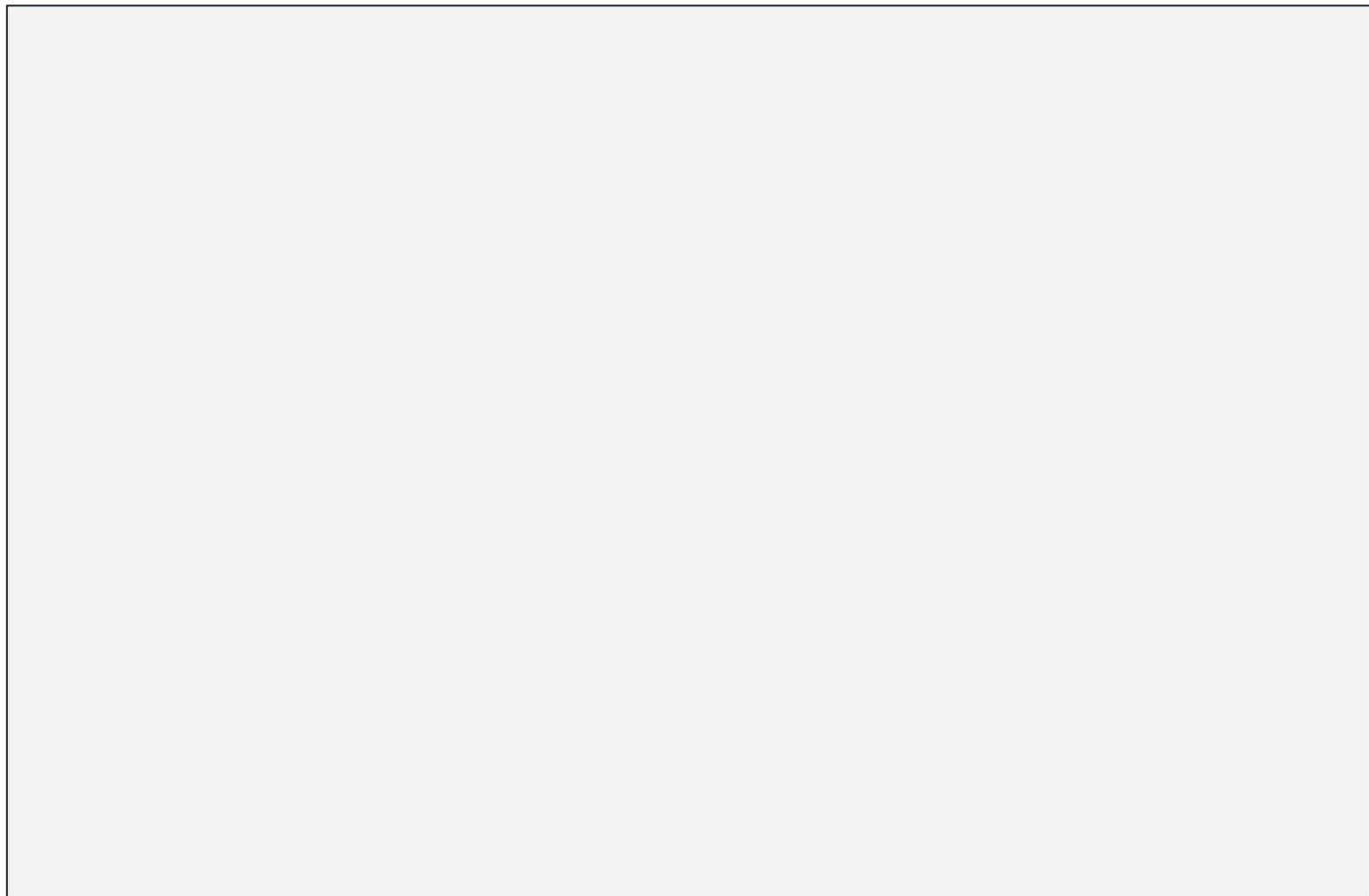
ワークショップ設計

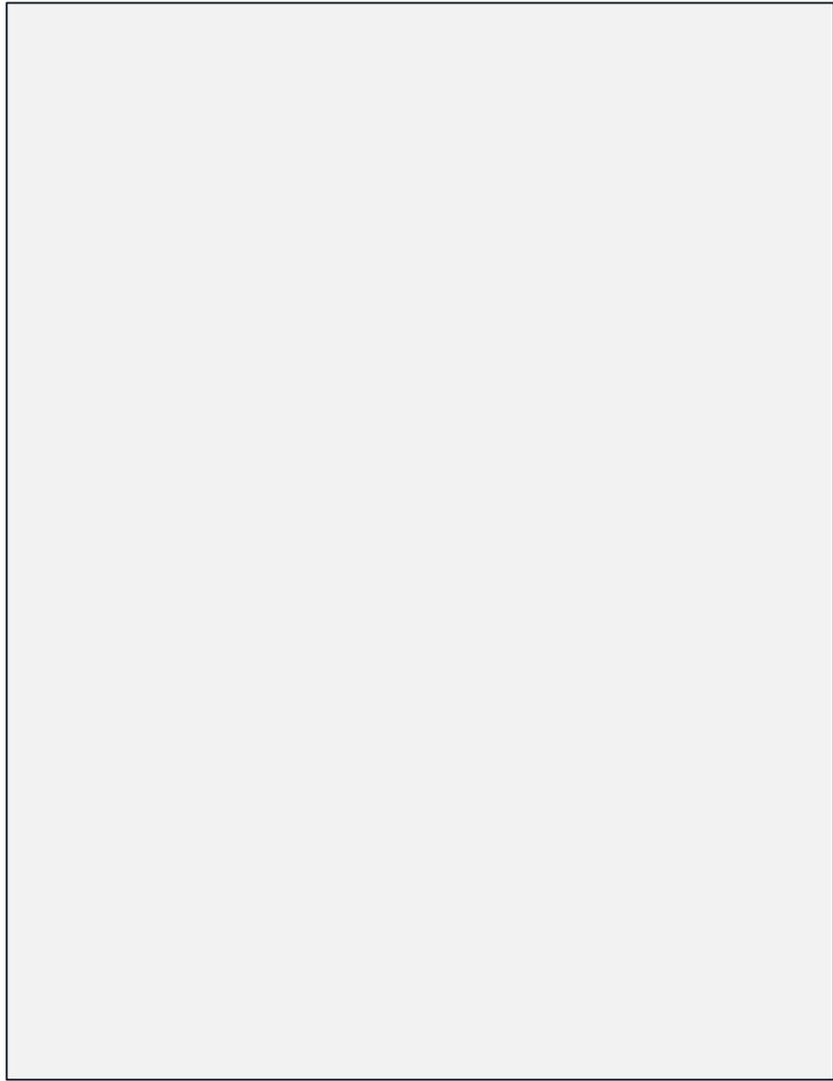
背景：SF思考

未来の言葉やキャラクターから、ありたい社会を考え、
バックキャストで新産業や開発技術や、制度をひもといていく手法

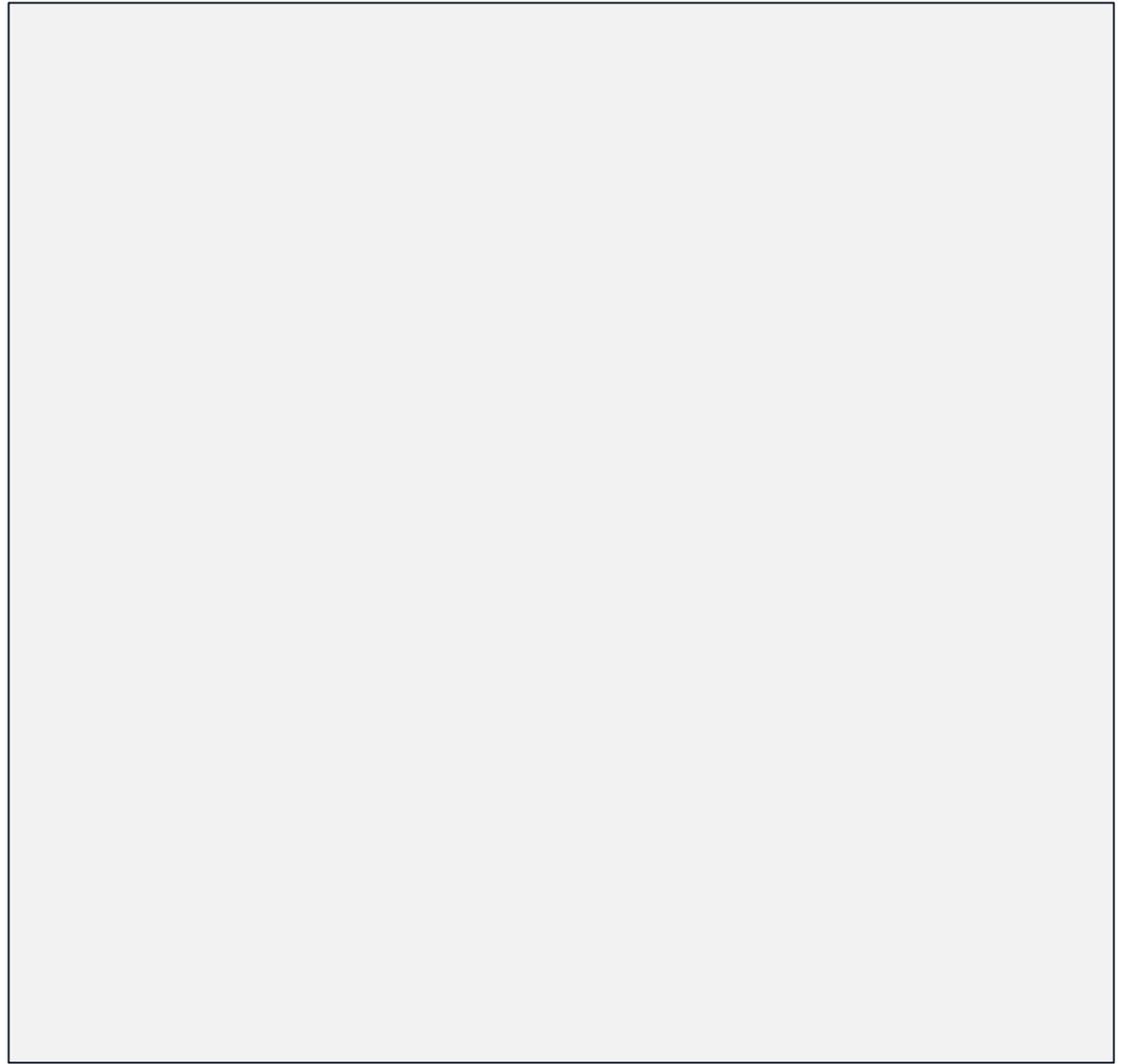
・バックキャスト：未来から逆算して今を考える

SF思考の 位置づけ





<https://www.nature.com/collections/swmfrlfmcm>



<https://news.microsoft.com/futurevisions/>

SF思考の特徴

1. ガジェットを介した未来の**具現化**

- 未来社会の変化を象徴するガジェット(製品・街・社会制度など)が登場すること

2. **キャラクター**からの具体的な眺め

- 抽象的な視点ではなく、特定の性格や意志、感情を持ったキャラクターの視点から、ガジェットのもたらす影響が考察されること

3. プロットによる**動的**なシミュレーション

- 断片的なシナリオにとどまらず、キャラクターたちの意識や社会状況が時間経過にともない変容してゆくプロセスを描くこと

SF作家の思考法

1. ちょっとおかしいな「**未来の言葉**」をつくる
2. ある**技術**がとてつもなく進歩した世界をイメージする
3. いまと価値観やライフスタイルの違う**キャラクター**を生み出す
4. 多様な人間の視点から**未来社会の仕組み**を考察する
5. 世界に現れる新たな**課題**と、構造的に生まれる**トラブル**を検討する

手軽なSF思考 未来像の共有



人間×生成系AI

人間のアイデア → AIによる生成 → 人間の推敲 → 完成

AIが創作をサポートすることで誰でも参加しやすい

特徴

AI作品は、理想的なたたき台

- ・不完全、ありきたり、遠慮もいらない
 - ・真意がないので、自由に想像できる
- 場所や人数(1人でも可)の制限が緩い
情報が残る(成果物、チャット、修正履歴)



ワークショップ実践例

全体の流れ

構想: 未来の言葉を考え、寓話の舞台、世界観、あらすじを考えます。

創作: 構想に基づく生成 AI の出力を推敲し、寓話を完成させます。

鑑賞: 作品に描かれた世界の実現可能性などについて思考実験します。

<https://note.com/fsdlab>

ご案内

公開ワークショップ

- ・3月12日(水) 13:00-17:00
 - ・東北大学片平キャンパス「知の館」/オンライン
 - ・テーマ: 未来の暮らし
-

多様な背景を持つ人々との対話 (Communication / Collaboration) を通して、未来に対する想像力を刺激し、創造力 (Creativity) を発揮しながら、同時にその未来像に対する批判的思考 (Critical thinking) を培います。

VUCA (不安定、不確実、複雑、曖昧) な現代では、未来を予測することは困難です。しかし、どういう未来で生きたいのかを考え、それを共有することはできます。未来に向けて「こんな未来になったらいいな / になったら困るな」という思いを「物語 (寓話)」に込め、生きたい未来の実現のために必要なことを一緒に考えましょう。

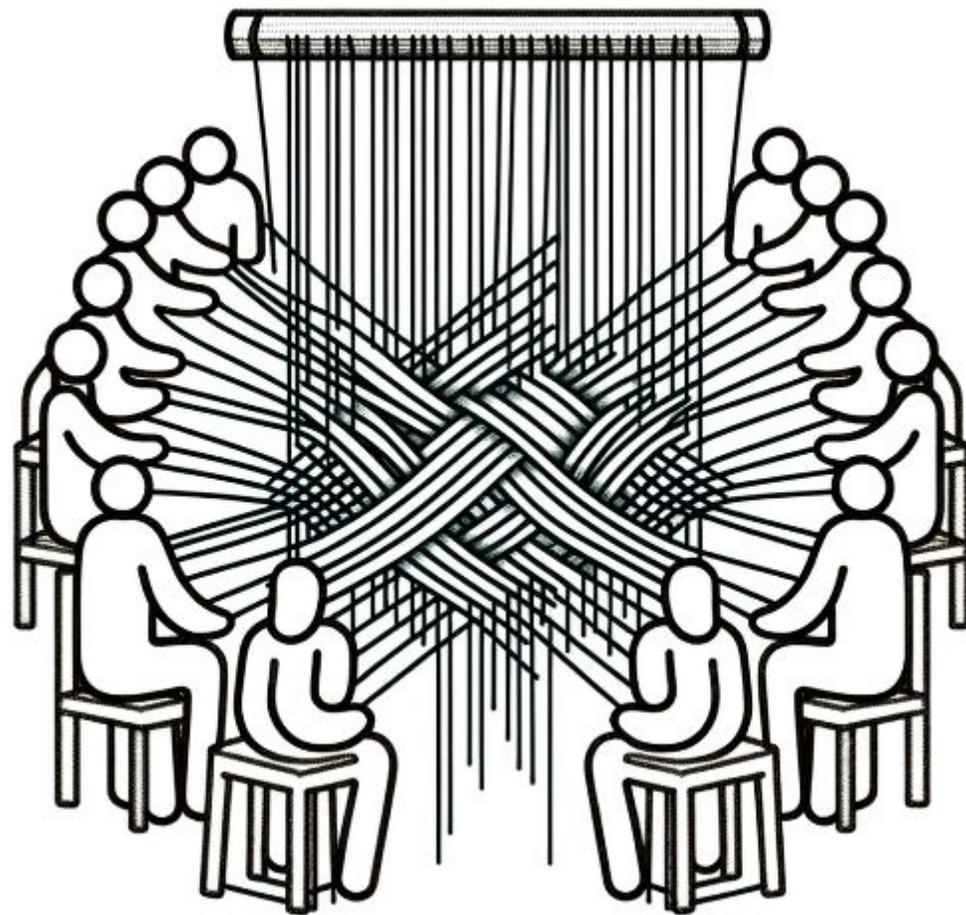
<https://note.com/fsdlab>

展望

広げる: オンラインホワイトボードを使った対話ツールの提供

重ねる: 情報集積・共有 (WEBや絵本: 作品+作品へのコメント+創作過程)

動かす: 意向調査や実装に向けた制度設計、研究開発



「あなたの想像が、未来になる」

「みんなの想像を、未来にする」

→想像できれば、そこに向かうことができる。
想像は、未来を自分でつくる第一歩。
過去と現在は選べないが、未来はつくれる。
